

全児童を対象に学校や放課後児童クラブを通じて放課後等デイサービス制度を案内するとともに、引き続き児童発達支援センターなどの相談窓口で制度案内を進め、ケース会議等での個別の対応を通じてスムーズな利用ができるよう取り組む。(西本健康福祉部長)

**他の質問** ●第2期教育振興基本計画策定について ●放課後児童クラブへの指定管理者制度導入について

**説明** ●放課後等デイサービス：就学中の障がい児が、放課後や長期休暇中などに通えるサービスで、訓練や居場所づくりを目的としたもの。

### 森本 政直 議員

盟政会



### 農業

#### 米づくりにおける今後の見通しについて

**議員** 米政策の見直しにより、米価下落等による農業経営の悪化が心配される。行政による生産数量目標の配分がなくなる平成30年産以降について、三田市ではどのような米づくりを進めていくのか。

**市** 生産者とともに産地一体となって方向性を示す平成29年中に三田市農業再生協議会に米生産の方向性が示せるよう、地域の関係者などが課題を共有して平成30年産以降の米生産の準備を始めている。また、三田米のブランド力強化や、生産・販売戦略が重要と考える。(坂本地域振興部長)

**他の質問** ●三田牛、三田肉の今後について ●高齢者福祉について

**説明** ●生産数量目標：米の適正な価格が維持されるために、国が必要と供給を見込み、生産量の調整を行った目標数値のこと。 ●三田市農業再生協議会：経営所得安定対策の推進及びこれを円滑に実施するために行政と農業者団体等が連携し、米など農産物の計画的生産や、担い手の育成・確保及び農地の利用集積、耕作放棄地の再生利用などを協議する会

### 小杉 崇浩 議員

無会派



### 防災

#### 災害時要支援者の対策について

**議員** 災害時に指定避難所に避難できない方を支援するため、在宅支援の事業者と災害時の応援協定を結んでどうか。また、通所施設も含めた福祉

避難所の増設が必要だと考えるが、見解は。

**市** 災害時の協定や仕組みづくりを検討する 大規模災害への対応は、行政だけでは限界があり、地域の団体や民間事業者の協力が不可欠。応援協定の締結をはじめ、仕組みづくりについて検討する。福祉避難所は、市特別支援学校の追加指定に向け協議中であり、通所施設との協定についても検討していく。(森市長)

**他の質問** ●障害者優先調達推進法への対応について ●ヘルプカードの方向性について ●スクールソーシャルワーカーについて

**説明** ●福祉避難所：災害発生時に高齢者・障害者・妊産婦など特別な配慮を必要とする人を受け入れる避難所。

### 田中 一良 議員

新政みらい



### まちづくり

#### 歩道・街路樹・植栽帯の長期維持管理対策について

**議員** 歩道舗装や街路樹・植栽帯の維持管理は膨大な経費を伴うため、現在の方法から、抜本的な見直しを講じるべきと考えるが。

**市** 街路樹等の維持管理費の増大は、喫緊の課題 来年度モデル地区を設定し、歩道の根上りの原因となっている樹種の変更や、適正な樹木の配置間隔について、また維持管理等についてなど地域の方と協議しながら取り組みを進める。市民協働のまちづくりの一つのモデルケースとなればと考えている。(森市長)

**他の質問** ●「グローバル人材の育成」における英語教育について ●災害時避難所のトイレの洋式化について ●ITを利用した市民力の活用について ●ナラ枯れ対策について

### 北本 節代 議員

新政みらい



### 福祉

#### 市民が手話を学ぶ機会充実について

**議員** 三田市独自の手話ハンドブックを作成し、手話や聴覚障がい者への理解を深めることはできないか。

**市** ハンドブックを作成し手話への理解促進を図る 三田の地名や施設などを手話で紹介する独自のハンドブックを作成することを検討する。今後、実施予定の市民向け手話講座で利用するなど、多くの市民に手話への理解を深めていただくために活

用したい。(西本健康福祉部長)

**他の質問** ●福祉教育の推進について ●介護保険制度について ●市道寺垣内線の早期整備について ●県道三田西インター線の早期整備について

### 長谷川 美樹 議員

日本共産党三田市議団



### 福祉

#### 障がい者にも利用しやすい駐車スペースを

**議員** 新庁舎建設に伴い、三田ビル側にあった従来の駐車場が移設されることで障がい者の市役所駐車場利用に「新たな障害」が生じてきた。障害者差別解消法に基づき障がい者の立場に立った駐車スペースの確保を。

**市** 障がい者の駐車場利用は民間事業者の協力も必要 庁舎前広場は、災害時の防災広場としても活用するため、盛土を行い緊急車両のみ進入させる計画である。障がい者の駐車場利用は、民間事業者の協力も必要であり、福祉部局と連携し、周知に努めるとともに、個別事例に応じて市からも協力要請を検討する。(岩越経営管理部長)

**他の質問** ●行財政改革(案)と総合計画後期基本計画(案)について ●介護保険「要支援1・2」から「新総合事業」への移行について ●障がい者、市民の立場に立った施策の在り方について ●選挙管理委員会の在り方について

**説明** ●盛土：低い地盤や斜面に土砂を盛り上げて高くし、平坦な地表を作る、または周囲より高くする工事。

### 長尾 明憲 議員

日本共産党三田市議団



### 子育て

#### 放課後児童クラブは直営で

**議員** 指定管理者制度の導入による運営では、指導員の入れ替わりなど、子どもに影響を大きく与える問題が多々ある。また、保育の場である児童クラブに教育の側面を持たすことは、子どもの安らげる場所を奪い、児童クラブそのものを否定することになるのでは。

**市** 「学びの都(まち)三田」にふさわしい運営手法を検討する 「学びの都(まち)三田」にふさわしい質の高い内容を保ちながら、協力関係にある高等教育機関等を活用し、民間の運営手法等取り入れ、モデル地

域を設定し、保護者の声を聴きながらよりよい環境の充実に向けた運営手法を検討する。(城下理事)

**他の質問** ●125 C C以下の自動二輪車の駐車場の拡充について ●障がい者支援施策の拡充について

### 松岡 信生 議員

公明党



### 行財政

#### 「行財政構造改革」へ臨む政治姿勢について

**議員** 市では今後の市政運営を考え、公共施設管理及び第4次「総合計画」等の見直し、「行革」に着手したが、その視点として、市民生活の「最重要視」は不可欠である。扶助費等「福祉サービス」への影響も懸念されるが、その目線や姿勢について伺う。

**市** 安定した福祉サービスの持続に努める 歳出額の抑制が大きな課題であり、今後福祉サービスも見直し対象になり得るが、税が所得の再配分機能を有することを前提に対象者やサービス内容を十分精査し、安定した福祉サービスの持続に努める。(森市長)

**他の質問** ●上下水道事業の経営の状況と今後について ●危機管理に向けた取り組みについて

**説明** ●扶助費：社会保障制度の一環として住民福祉を支えるための経費であり、生活保護法など国の法律に基づいて支出するものと、地方自治体が住民福祉の増進のために独自の施策として支出するものがある。

### 白井 和弥 議員

盟政会



### 防災

#### 三輪小学校の避難所再指定について

**議員** 三輪小学校は、平成20年7月に兵庫県の土砂災害警戒区域指定を受け、避難所から外れましたが、地域からは避難所として戻して欲しいとの根強い要望があるがどう考えるか。

**市** 土砂災害特別警戒区域の現地調査により判断する 兵庫県では、現在の土砂災害警戒区域の中にさらに危険度が高い土砂災害特別警戒区域の指定や砂防事業の事業化を検討している。市は、その現地調査を含めた詳細な調査により三輪小学校の危険度を把握し、その結果を踏まえ再指定について判断したい。(浮田危機管理監)

**他の質問** ●三田駅北側周辺のまちづくりについて ●密集住宅市街地について ●空き家対策特別措置法の活用について